



1 生徒会役員が誕生！

11月10日に生徒会会長選挙立会演説会が行われました。その後、全生徒による投票で新しい生徒会会長が決定しました。さらに時間をかけて生徒会の組織ができました。メンバーは以下の通りです！

会長	さん	
副会長	さん	
書記	さん	さん
生活	さん	さん
美化	さん	さん
保体	さん	さん
情報	さん	さん
学習	さん	さん
図書	さん	さん

12月19日(火)に生徒会役員認証式があり、その後に新年からの生徒会の取組についての生徒総会がありました。



生徒会総会で活動方針や内容についての発表がありました。各学級からの質問にもはきはきと答えてくれました。今回も生徒総会を生徒会が発足してからすぐに実施するという新しいやり方で行いました。新会長が選ばれて時間も限られる中、資料の準備から会の運営まで苦労も多かったと思います。それをやり遂げての生徒総会でした。

経験豊富な3年生の意見と新しい視点での1年生の意見、身近な同級生の意見で、これからの活動がさらによりよいものになると感じました。

最後に「3年生が築いた伝統を引き継ぎ、さらに新しい伝統を積み上げてほしい。」と締めくくりました。



2 3年生 生徒会役員退任式！

12月19日(火)に現生徒会役員の退任式を行いました。そこで…

みなさんは、生徒会の会員である全校のみんなをリードし、みごとに三田川中学校の伝統を継承し、発展させてくれました。そして「すばらしい学校」をつくりあげてくれました。

心残りなことややり残したこともあるかとは思いますが、そこは後輩たちに託してください。また、次のステージでも力を発揮してください。

会長さんを中心としたみなさんは、記憶に残る、記録に残る生徒会でした。これまで三田川中学校を引っ張ってくれたメンバーにお礼を言いたいと思います。「本当にありがとう」そして「ご苦労様」でした。

3 第1回吉野ヶ里町みらい発見コンテスト開催！

12月14日(木)に吉野ヶ里町中央公民館講堂で第1回吉野ヶ里町みらい発見コンテストが行われました。入賞者は以下の通りです。おめでとうございます。

【2年】 右上段はタイトル・下段は発表者

優良賞	吉野ヶ里町の老舗を守るために
	さん

【1年】 右上段はタイトル・下段は発表者

最優秀賞	「平和」について	さん・さん・さん
		さん・さん
優良賞	シュガーロードについて	さん・さん・さん
		さん・さん

どの発表者も緊張する中でしたが、調べたことをもとに自分の考えを、パワーポイントを効果的に使って発表してくれました。さらに吉野ヶ里町の未来への発信を期待したいです。



4 第二学期 終業式！12月22日

新型コロナウイルスやインフルエンザなど感染症防止への油断はないですか。インフルエンザの流行発生警報は継続中です。引き続き、感染防止のため意識を高めましょう。



- ①毎朝の検温を忘れず行う。
- ②手洗い・消毒を小まめに行い、手指を清潔に
- ③適度の湿度
- ④こまめな換気
- ⑤十分な休養やバランスの良い食事

学校でも家庭でも、常に、普段から、行う必要があるようです。

2学期の始業式では

「一人一人がいきいきと活躍する、実り多い学期にしてほしい」と話しました。

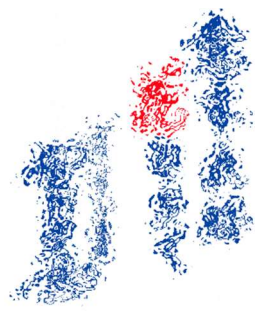
そして、「自分の行動は自分で決めよ。為すべきことを自分で決め、それを為せ。」とも話しました。実践してくれたでしょうか？

8月25日から始まった2学期、体育大会、新人戦、駅伝大会、文化発表会、生徒会会長選挙、人権ウィーク・人権集会、生徒会総会などなど…たくさんの行事とたくさんのみんなの努力がそこにはありました。その中で、心ひとつに一人一人が活躍し、目標をもってそれぞれに活躍し、そして成長してくれたと思っています。

人権ウィーク・人権集会の中でもたくさんのことを学びました。「人を傷つける言葉や行い」はありませんでしたか？あった人は、2度と繰り返さないようにしましょう。人は失敗から学びます。失敗したらすぐに「ごめん」と謝る潔さも必要です。そのことをそのままにしておかず、「同じ失敗をしないぞ」と努力することが大事です。

令和5年を振り返って、さらに積み重ねるところや改善するところを考え、新しい年に生かせるようにしましょう。

今回は、プロ野球の故野村克也監督の言葉のひとつ、「勝ちに不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし。」の話をしました。この言葉はもと、江戸時代の大名で剣術の達人でもあった松浦静山の剣術書にある一文から引用されたものです。負けるときには、何の理由もなく負けるわけではなく、その試合中に必ず何か負ける要素がある。一方、勝ったときでも、すべてが良い



と思って慢心すべきではない。勝った場合でも何か負けにつながったかもしれない要素あるということです。試合に勝つためには、負ける要素が何だったかを探し出し、どうしたらその要素を消せるかを考えていく必要があります。もし勝ち試合であっても、この中には、負けにつながることを犯しているミスが多々あり、たとえ試合に勝ったからといって、その犯したことを見過ごしてはならないという戒めを述べています。

反面、失敗には再現性があります。やってはいけない事をやってしまうと必ず失敗するという事です。だから実際には、むしろ失敗から多くのことが学べるものです。やってはいけない事を知ることが何よりも先に必要となります。負けないためには、ひらめきや思いつきによる作業ではなく地道な努力が必要です。「失敗は成功の元」と言います。失敗の本質を学ぶことが結果、成功する近道ということになります。試合を学習や習い事に置き換えて考えましょう。結果を出すためには、やってはいけないことを避けることが大切です。

三年生へのエールも送りました。精神科医の和田秀樹さんは、「学力は冬に伸びる。冬は春の8倍も勉強が進む」と言っています。目標が鮮明になっているからなのでしょう。みなさんも考えてみてください。新年になると「二十歳の集い」の話題になります。あと数年後に何をやっていきたいかを考えることは大切です。

他にも

「怠ける者は不満を言うが、努力するものは目標を語る。」

「受験は個人戦。だが、受験勉強は団体戦。」

「一人ひとりの心が強くなり、チームの絆が深まったとき、サクラ咲く日はやってくる。」

の言葉を贈りました。

休みに入ったら、掃除をして家も部屋もきれいにして、心も気持ちも整理して、新しい年を迎えてください。年末年始に事件・事故に遭わないようにして、三学期に元気な姿を見せてください。と締めくくりました。